

社会資本総合整備計画 事後評価

安全・安心で快適な暮らしを支える水環境の整備

平成26年5月

奈良県 橿原市

評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県	市町村名	橿原市	計画期間	平成23年度～平成25年度	全体事業費	2,708,000 千円
計画名	安全・安心で快適な暮らしを支える水環境の整備						
計画目標	河川や水路などの水質を改善し、身近な水環境を良好に維持するために、下水道整備を中心とする水質改善事業に取り組むと同時に、浸水被害を未然に防止するなど、水路改修事業にも取り組み、健全な水循環系の構築を目指す。また、一定の期間を経過した施設の状態を把握し、老朽化による流下機能の阻害や、道路陥没事故等を未然に防止するため、点検・調査に基づいた長寿命化対策を講じる。						

1) 事業の実施状況	事業名	削除・追加した理由		削除・追加による指標等への影響	
		追加	計画策定により、事業着手が可能となったためH25年度より追加	新規指標を策定	
	A-1 第2処理区 汚水管渠 A-2 浸水対策下水道事業 A-3 長寿命化計画策定 A-4 長寿命化対策事業	追加	計画策定により、事業着手が可能となったためH25年度より追加	新規指標を策定	
	関連社会資本整備事業				
	C-1 第2処理区 汚水管渠(支線) C-2 生活排水クリーンアップ推進事業				
	交付期間の変更	当初	平成23年度 ~ 平成25年度	変更	—

2) 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	当初現況値	最終目標値	最終評価値	達成度※	達成見込みの有無		所見（効果発現要因等）
			H23当初	H25末	H25末		あり	なし	
指標1	下水道処理人口普及率を67.1%(H23当初)から70.1%(H25末)に向上	%	67.1%	70.1%	70.7%	○	●		事業費が減額となったが、与えられた予算の効果的な活用により、目標指標を達成することができた。今後も、計画的な事業実施および普及啓発により、事業効果の発現を図る。
指標2	雨水整備率を45.8%(H23当初)から46.1%(H25末)に増加	%	45.8%	46.1%	46.1%	○	●		他事業による整備も含め、目標指標を達成することができた。今後も、投資効果を重視した事業を実施するとともに、他事業とも連携し整備率の向上を図る。
指標3	白橿地区の公共下水道(汚水)の長寿命化計画を策定	%	0.0%	100.0%	100.0%	○	●		事業費が減額となったが、与えられた予算の効果的な活用により、目標指標を達成することができた。今後も、計画的な事業実施により対策率の向上を図るとともに、白橿地区以外の区域も対象に長寿命化計画の策定を行う。
指標4	長寿命化対策率を0%(H23当初)から20%(H25末)に向上	%	0.0%	20.0%	20.0%	○	●		

※達成度 ○:評価値が目標値を達成、あるいは上回った場合 △:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合 ×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

3) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	公共用水域の水質向上に関するPR活動(生活排水クリーンアップ推進事業)により、水環境に対する意識が高まり、下水道整備に対する市民の理解が深まりつつある。環境教育において、H23～H25の出前講座で延べ26校約2,000名の児童を対象に、簡易水質検査器具を用いた河川水質調査の体験学習を実施し、水質汚濁の現状を認識してもらった。また、環境イベントも年3回(大型ショッピングセンター2回、奈良県橿原文化会館前広場1回)実施し、生活排水対策PRブースで見学者約500名に実験器具を用いて水質検査をおこなってもらい、水質向上の意識づけをおこなった。
-------------------------	--

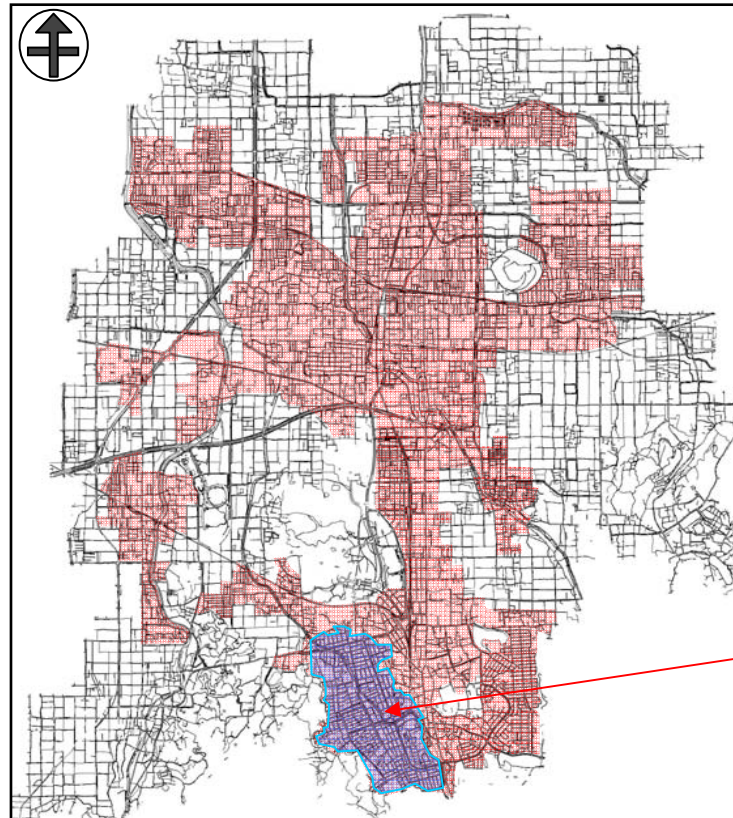
4) 地区の概要

A-1 第2処理区 污水管渠

C-1 第2処理区 污水管渠(支線)



C-2 生活排水クリーンアップ推進事業



A-2 浸水対策下水道事業



A-3 長寿命化計画策定

A-4 長寿命化対策事業



5) 総合所見

計画的な事業進捗により指標をクリアしている。

6) 今後の方策

水環境の重要性に関するPR活動(生活排水クリーンアップ推進事業、下水道の日(9月10日))に合わせたPRイベント)を継続する。